

# YAGI REPORT



## 株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。この度は、当社福井支店におきまして不適切な取引事案を発生させ、株主の皆様をはじめ、関係者の皆様にご迷惑、ご心配をおかけしましたことを心からお詫び申し上げます。本件につきましては、外部専門家を含む調査委員会を設置し、全容の解明、財務諸表への影響に関する調査、原因の分析を進め、5月31日に再発防止策の提言を含む調査報告書を公表いたしました。その後、当社において本報告書において指摘された問題点及び再発防止策の提言を真摯に受け止め、具体的な再発防止策の策定を行い、6月9日にその概要等を公表いたしました。速やかに再発防止策の実行と業務の適正を確保するための体制の確実な運用を徹底し、全力をあげて信頼回復に努めてまいります。株主の皆様をはじめ、関係者の皆様には多大なご迷惑をおかけすることになりましたことを心よりお詫び申し上げます。

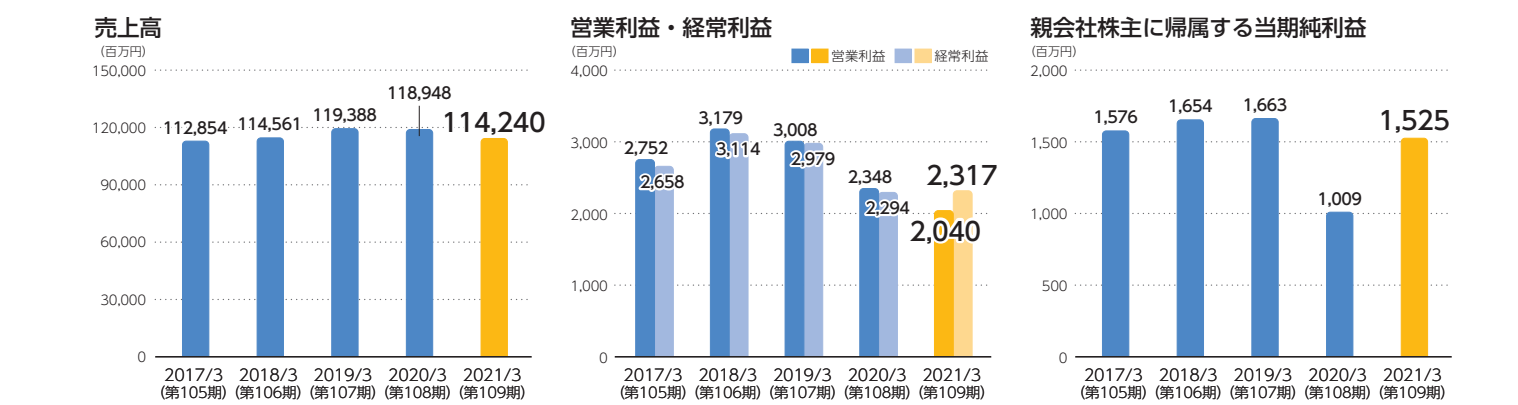


代表取締役社長執行役員 八木隆夫

当連結会計年度における我が国経済は、長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響により社会・企業活動は大きな制約を受け、雇用情勢や個人消費は総じて不安定な状況となりました。徐々に持ち直したかにみえた経済活動も、第2波、第3波と続く出口の見えない感染拡大に振り回され、今後の先行きは一層不透明な状況にあると言えます。このような状況の下、当社グループは2020年4月に3か年の新中期経営計画「MAKE A DREAM, 1+∞」を策定し、「経営体制の高度化」「事業ポートフォリオの最適化」「次世代事業の創出」「サステナビリティの着実な実行」の4つの重点方針を掲げ、経営組織体制の強化、優良取引先との取り組み強化、ブランドビジネスの強化、当社グループとしてのエシカル活動であるYAGIthical(ヤギカル)の推進といった様々な施策を推進してまいりました。本年1月には、新中計にも掲げている「経営体制の高度化」を更に推進するため、社内の組織変更と執行役員制度の変更を行い、目まぐるしい環境変化に柔軟に対応すべく体制を更新し続けています。今後におきましても、当社が1893年の創業以来築き上げてきた信用と実績を更に高めていくために、経営の効率性向上を進め、グループシナジーを強化することにより企業価値向上に努めてまいります。株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご理解、ご支援を賜りますよう、よろしく御願い申し上げます。

2021年6月

## 財務ハイライト(連結)



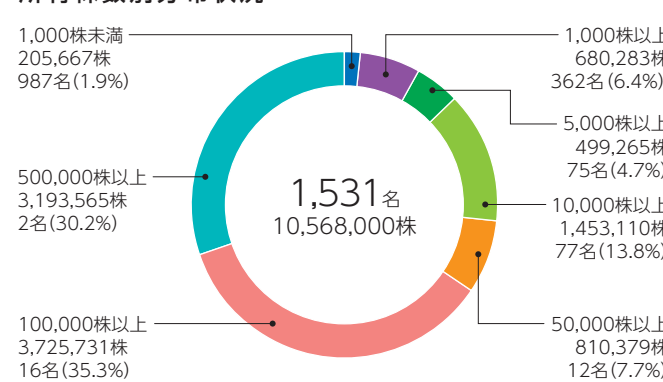
## 株式の情報 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数 45,568,000株  
発行済株式の総数 10,568,000株  
株主数 1,531名  
大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
ヤギ共栄会	927 (千株)	11.17 (%)
ビービーエイチ フィデリティ ビューリタン フィデリティ シリーズ インベストメント オポチュニティズ ファンド	450	5.42
株式会社みずほ銀行	410	4.94
株式会社三井住友銀行	380	4.58
立花証券株式会社	348	4.19
株式会社三菱UFJ銀行	305	3.67
ヤギ従業員持株会	288	3.47
第一生命保険株式会社	250	3.01
クロスプラス株式会社	229	2.76
ノムラピービー ノミニーズ ティーケーワン リミテッド	217	2.62

(注) 持株比率は自己株式(2,266,065株)を控除して計算しております。

## 所有株数別分布状況



## 会社概要 (2021年6月25日現在)

### 会社の概要

社名 株式会社 ヤギ  
英文社名 YAGI & CO.,LTD.  
創業 1893年(明治26年)10月16日  
設立 1918年(大正7年)4月28日  
資本金 1,088,000,000円  
主な事業内容 綿化繊維、合繊糸、綿化繊維物、合繊織物、ニット生地及び衣料品等の各種繊維二次製品の国内販売ならびに輸出入  
主要な事業所 (国内) 大阪本社 大阪市中央区久太郎町二丁目2番8号  
東京本社 東京都中央区日本橋小網町18番15号  
支店 福井(福井市)  
出張所 名古屋(名古屋市)  
営業所 和歌山(和歌山市)  
(海外) 駐在員事務所 上海(中国)  
ホーチミン(ベトナム)  
ハノイ(ベトナム)  
ダッカ(バングラデシュ)

### 役員一覧 (2021年6月25日現在)

代表取締役社長執行役員 八木 隆夫  
取締役常務執行役員 山岡 一朗  
取締役上席執行役員 杉岡 弘康  
取締役上席執行役員 濱田 哲也  
取締役上席執行役員 八木 靖之  
取締役(常勤監査等委員) 三浦 明石  
取締役(監査等委員) 池田 佳史  
取締役(監査等委員) 塩田 修  
取締役(監査等委員) 熊谷 弘

(注) 取締役池田佳史、塩田修及び熊谷弘は、社外取締役であります。

(注) 本年次報告書中の記載金額及び株式数は表示単位未満の端数を切り捨てております。

## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日までの1年  
定時株主総会の基準日 3月31日  
剰余金の配当の基準日 期末配当 3月31日  
中間配当を行うときは9月30日  
単元株式数 100株  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)  
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。  
公告の方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。  
ホームページ <https://www.yaginet.co.jp/ir/announce.html>

### 【住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について】

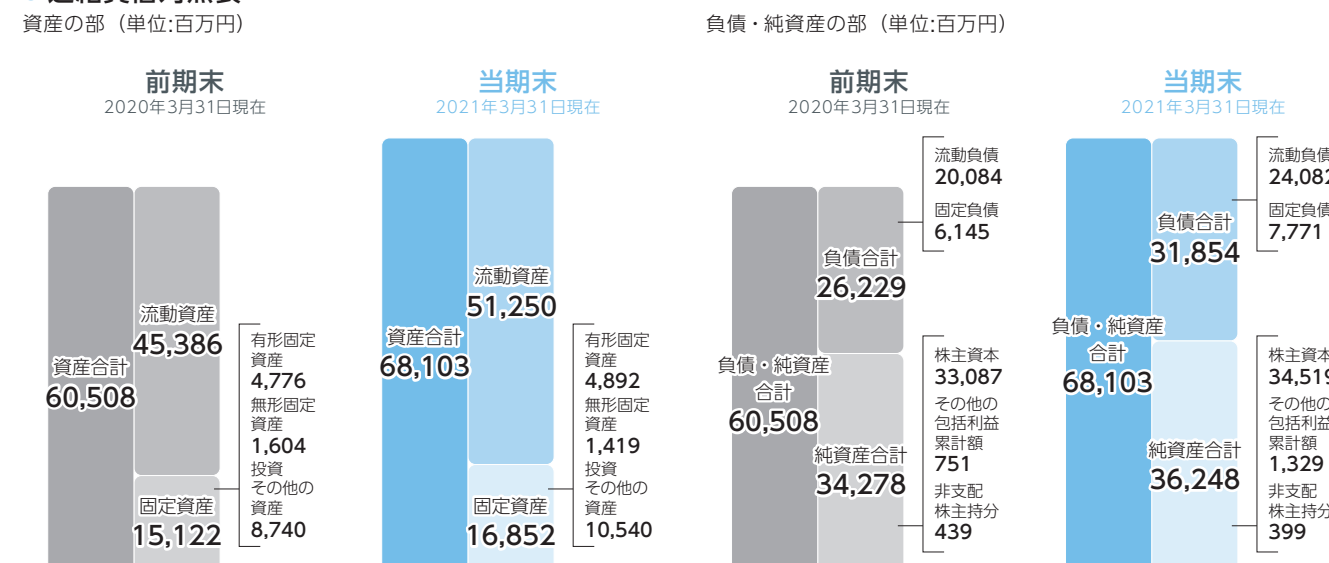
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 【未払配当金の支払いについて】

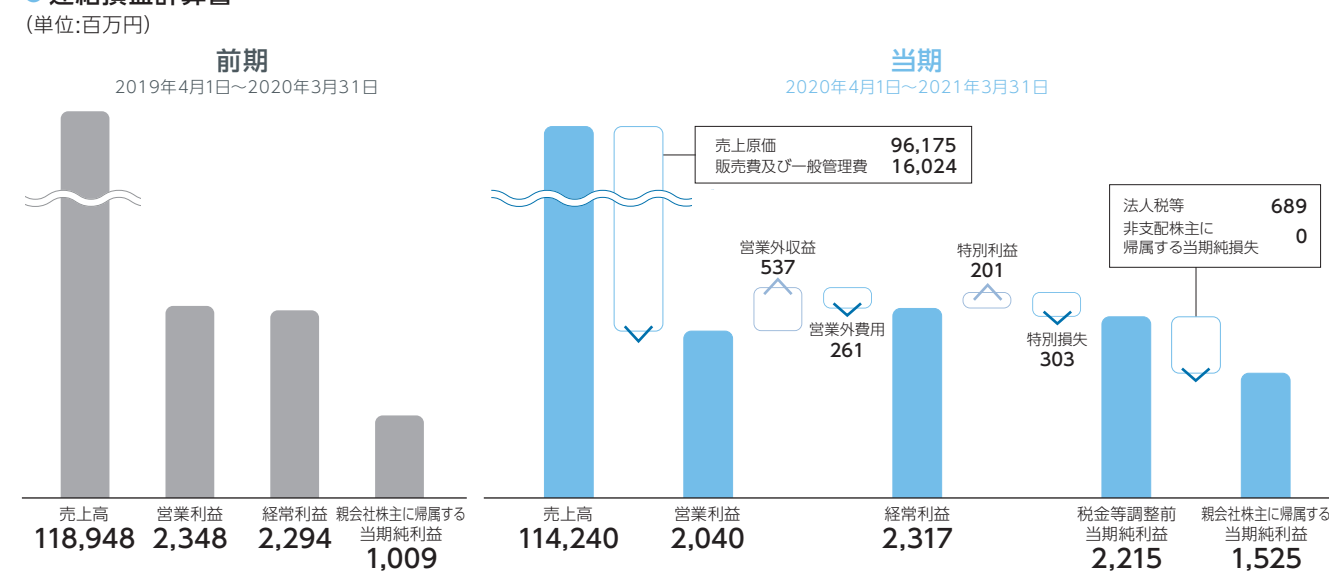
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 連結財務データ

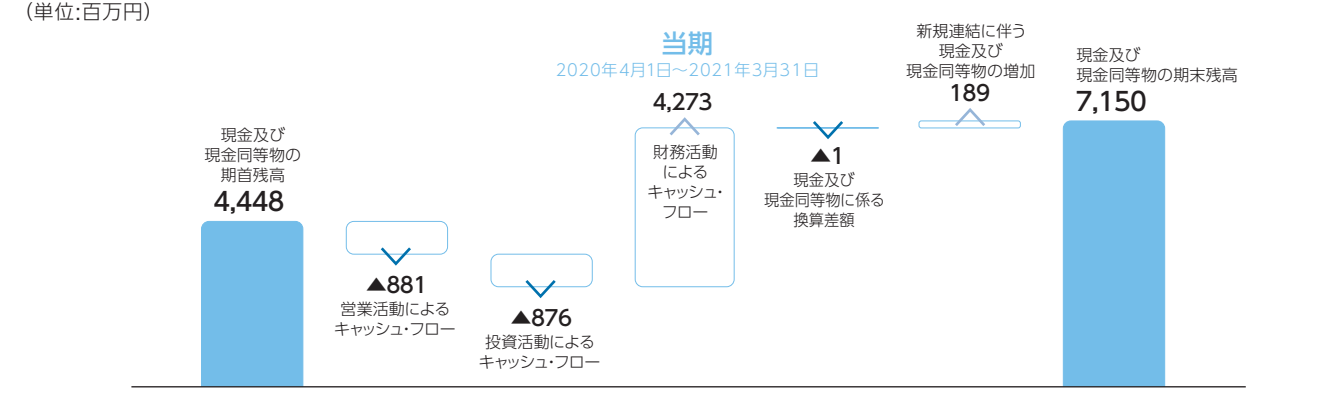
### ● 連結貸借対照表 (資産の部 (単位:百万円))



### ● 連結損益計算書 (単位:百万円)



### ● 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)



詳しくは当社ホームページをご覧ください

ヤギ IR

検索



株式会社 ヤギ

〒540-8660 大阪市中央区久太郎町二丁目2番8号  
<https://www.yaginet.co.jp>





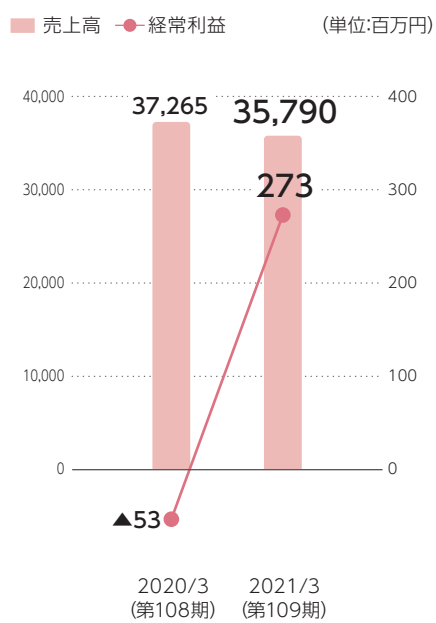
## セグメント別の概況

※当連結会計年度より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年比較については、前期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。



天然繊維・合成繊維ともに、年度前半は、受注、出荷とも落ち込みが大きかったものの、後半から加工用備蓄糸販売が回復基調となったほか、車両内装材、インテリア向け原料販売、また高付加価値原料が比較的安定した動きとなりました。また、テキスタイルにおいては、年度末にかけてニット素材の販売が復調傾向となり、学販・通販向けテキスタイル販売は好調に推移しました。しかしながら、全体として各産地のニット・染工場・加工場が稼働率を低下させるに伴い、減産や受注減を余儀なくされたため非常に苦戦を強いられました。

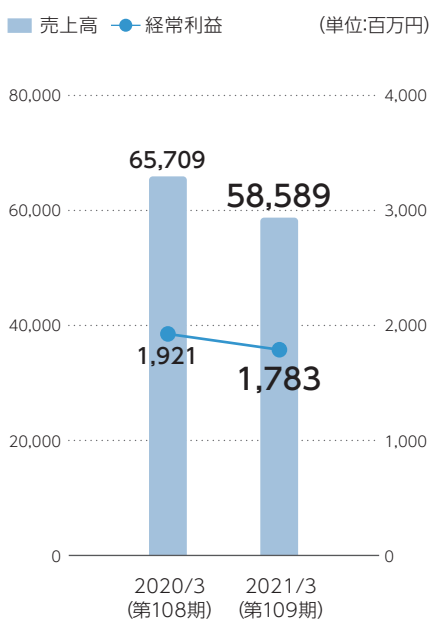
この結果、売上高は35,790百万円(前期比4.0%減)、経常利益は273百万円(前期比53百万円の経常損失)となりました。



(※売上高構成比はこの他に、不動産事業0.6%があります。)

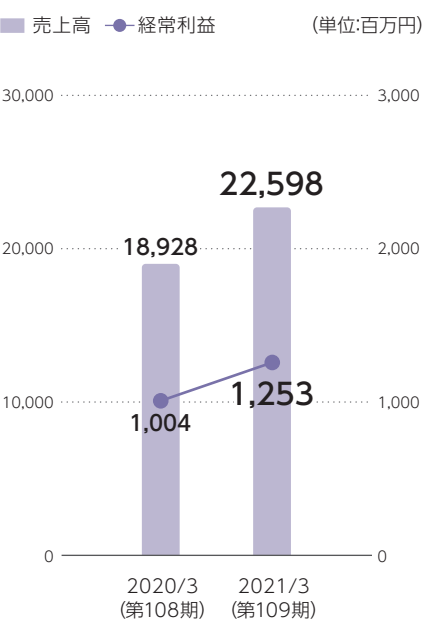


コロナ禍による影響で都心部を中心に実店舗を展開する駅ビル・百貨店・ショッピングセンターは客足が遠のき、大手アパレル・セレクトショップ向けは総じて厳しい状況が続きました。一方で、家庭内時間が増えた背景を追い風に、特に通販向けでルームウェア・インナーウェアなど巣ごもり需要に呼応した商材が好調であったほか、ワーク系商材や低価格ゾーンの量販店向け商材は堅調に推移しました。当事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けながらも、好調な動きを見せる通販・EC分野への販売に注力してまいりましたが、売上高は58,589百万円(前期比10.8%減)、経常利益は1,783百万円(前期比7.2%減)となりました。



ブランド事業においては、総じて店頭の実行が不調となり苦戦を強いられました。一方で、生活・産業資材や家庭用抗菌抗ウイルス素材を扱うライフスタイル事業では安定的に推移することができました。また、消費財としての需要が旺盛なマスク市場に対し、デザイン性と機能性を兼ね備えたマスクや、コスメブランド向けマスク、またナノファイバーを使用した高性能マスクなど、当社グループの総合力を活かした商材を積極的に投入することで、新規販路を拡大することができました。

この結果、売上高は22,598百万円(前期比19.4%増)、経常利益は1,253百万円(前期比24.8%増)となりました。



**配当について**  
配当につきましては、長期的な視野で安定した利益還元と、経営基盤強化のための内部留保充実をバランスよく行っていくことを基本方針としております。

当基本方針に基づき、当期末配当金は1株につき48円とさせていただきます。また、次期の期末配当金につきましては、1株につき48円を予定しております。

## TOPICS

# 新中期経営計画「MAKE A DREAM,1+∞」進行中！

当社グループは、2023年3月期を最終年度とする中期経営計画を昨年4月に策定しました。スローガンである「MAKE A DREAM,1+∞」には、「人と人を繋いで夢を追う」意味を込めています。本年1月には、この新中計にも掲げている「経営体制の高度化」を更に推進するため、社内の組織変更を行い、執行役員制度の改変も行いました。(新しい社内組織図は、HPからご確認いただけます)

## 「株式会社 FMB」(ファッションメタデータバンク) を設立し、DXを加速。



FMB Webサイト <https://fmb.tokyo/>

日本初のファッションテックスクール「Tokyo Fashion technology Lab」を運営する株式会社TFLと共同で株式会社FMBを設立し、高精緻なファッション3DCGの制作スタジオである「ファッションメタデータバンク」をスタートいたしました。当社は以前からTFLと産学連携し、DXの推進に積極的に取り組んできました。産業全体に関わるDX推進を一社で手がけるには限界があるという気づきや、「川上から川下」までの事業に関わる商社の責任として業界全体でのDX推進へ寄与したいという想いから、FMBを設立しファッション3DCGに取り組むことといたしました。FMBは、新しいサプライチェーンモデルを構築し「ファッション製造・流通の再創造」を実現するため、アパレル業界向けテクノロジーサービスを提供いたします。業界構造を進化させるためのオープンプラットフォームとして、ファッション産業の内外問わず、幅広くこのサービスを提供してまいります。



## 葛西臨海公園駅下に商業施設「Ff(エフエフ)」を開業。施設内に「Hygge Store by NORDISK」もオープン。

当社のグループ会社であるBOLDMAN株式会社は、本年1月、JR京葉線・葛西臨海公園駅の構内高架下に複合商業施設「Ff(エフエフ)」を開業し、施設内には「Hygge Store by NORDISK」もオープンいたしました。

「Ff」は、「パークアウトドア」をコンセプトに新しい公園の楽しみ方を提案しております。新型コロナウイルスの影響により、アウトドアに対する関心が高まってきておりますが、「Ff」が提案する新しいライフスタイル「パークアウトドア」では、専門的な知識や道具を必要とする本格的な

アウトドアではなく、公園という空間で、遊び、学び、自然を楽しむ、くらしの延長にあるアウトドアを提供しています。また、「Ff」内にオープンした「Hygge Store BY NORDISK」は、Hygge(豊かな時間の過ごし方や暮らし方、心の持ち方を表し、ほっと癒される心地よい時間と空間や、その体験を通して得られる幸福感)をコンセプトとした「ノルディスク」ブランドとして初めてのライフスタイルショップです。北欧文化を日本の風土に落とし込んだプロダクトを取り揃えており、ノルディスクの世界観を体験していただけるショップとなっております。



Ff Webサイト <https://fffff.sc/>



## 経産省からの感謝状受領

当社は昨年より続くコロナ禍の中で、防護服や医療用マスク等、新型コロナウイルス対策のための製品の取り扱いを進めてきました。医療物資等の増産に協力した企業として新型コロナウイルスの感染拡大及び社会の混乱抑制に貢献したということから、2020年12月に経済産業大臣(経産省)から感謝状を拝受しました。



## 「ナノファイバーを利用した高性能マスク「AirQUEEN」(エアクイーン) 5,600枚を長野県に寄付



当社が展開する、ナノファイバー製品ブランド「ナノセラ(NANOXERA™)」を使用した高性能マスク「エアクイーン(AirQUEEN)」5,600枚を、2020年10月に長野県に寄付いたしました。ナノセラは、韓国のナノファイバー製造企業トップテック社と信州大学繊維学部が研究開発して誕生したナノファイバーのブランドで、当社は2020年1月、トップテックグループに属するライム社とナノファイバー製品のグローバル販売(韓国を除く)に関する契約を締結し、業務提携いたしました。ナノセラを使用したエアクイーンは、0.3µm(マイクロメートル)以下の微粒子を95%以上遮断。着用部分からの空気の漏れ率が10%以内というアメリカの防じんマスク規格「N95」の基準をクリアし、アメリカ食品医薬品局(FDA)に医療機器として登録されるなど、高い機能性が特徴のマスクです。



また、ナノセラは米民生技術協会(CTA)が主催する世界最大のハイテック技術見本市であるCESにも出展し、世界各国からの問い合わせをいただいております。

ナノセラ Webサイト <https://nanoxera.com/>

# YAGIthical・サステナビリティ取り組み

当社グループは、持続可能な社会の発展を目指し、エシカルへの取り組みを総称して「YAGIthical(ヤギシカル)」と名付け、国連の提唱する持続可能な開発目標(SDGs)と関連付け、SDGsの達成に貢献するため、取り組んでいます。今期の代表的なヤギシカルの取り組みをご紹介します。



## インドでのオーガニックコットン生産者支援プロジェクトをスタート

当社は、一般財団法人PBP COTTONと共に、インドでのオーガニックコットン生産者に対する、透明性と持続性のある支援活動を行う「シードプロジェクト」をスタートいたしました。PBP財団のメンバーで、インド最大手のオーガニックコットン紡績メーカーであるナハール社を通じ、支援地域の綿花に種子購入の寄付金を積み上げて買い上げ、紡績したオリジナル糸(PBPヤーン)を展開いたします。寄付金は、現地のPBP財団メンバーであるNPO、チェтнаから生産者に還元し、オーガニックコットンの種子をかうための補助や、品質向上を目的とした生産者教育などに活用されます。こうした支援をするにあたり、対象地域の生産者をリスト化し、支援先と支援規模の「見える化」にも努めています。インドの綿花栽培農家を支援するために、より多くの企業にこのシードプロジェクトに参加してもらい、サステナブルな社会の実現を目指してまいります。



## SDGsワークショップを社内で開催

SDGsの浸透と、社内での取り組みを更に促進させるため、東京本社・大阪本社の2拠点で、一般社団法人イマココラ様による社員向けのSDGsワークショップを開催しました。このワークショップでは、SDGsを実際の業務に繋げるための提案をする機会も作り、チーム別での発表を行いました。ワークショップは今年度も引き続き継続し、SDGs目標達成に向けた取り組みを更に進化させてまいります。

